



いよいよ夏本番！

— なるせ保育園 プール開き —

最初に、スマートフォンアプリ「COCOAR2」をインストール！

STEP1 「COCOAR2」アプリのインストール



STEP2 COCOAR2 を起動してかざす



※COCOAR2は専用アプリです。
「COCOAR2」アプリを起動し、専用端末をかざしてスタートしてください。
※COCOAR2は専用端末のみで動作します。

6月定例会議



6月定例会議は、6月4日から15日までの12日間の審議期間で開催されました。

報告4件、条例案2件、予算案4件の合計10件を審議。陳情2件を採択として、議員発議の意見書2件を含むすべての議案を全会一致で原案のとおり可決しました。

2日目には一般質問が行われ、4議員が登壇し村政を質しました。

条例

◆改正

○行政手続における特定の個人識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

・教育委員会に委任していた保育事業を、民生課が主管となり行うため、事務の変更に伴う条例の一部改正。

○介護保険条例の一部改正

・令和2年4月からの消費税10パーセント引き上げに伴う保険料軽減措置の完全実施を行うため、条例の一部改正。

議案質疑

6月定例会議最終日15日の議案等に対する主な質疑の内容を要約してお知らせします。

○介護保険条例の一部改正について

質問 村の介護保険料に新型コロナウイルスがどのように影響しているか。

答弁 新型コロナウイルスによる影響は、今のところはないと考えている。



村の新型コロナワクチン接種が順調に行われている

専決処分【令和2年度一般会計補正予算(第9号)】の主なもの

歳入	
○村税	
法人税増	758万円
村たばこ税増	367万円
入湯税減	▲162万円
○地方譲与税	
自動車重量譲与税増	166万円
○地方消費税交付税	
地方消費税交付金増	1387万円
○地方交付税	
特別交付税増	1億5116万円
○国庫支出金	
子どものための教育・保育給付費負担金減	▲143万円
新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金減	▲1893万円
特定地域づくり事業推進交付金減	▲132万円
○県支出金	
子どものための教育・保育給付費負担金減	▲186万円
福祉医療給付費補助金減	▲259万円
道路除雪委託金増	239万円
○寄附金	
一般寄附金増	283万円
○諸収入	
奨学資金貸付金増(現年度分)	114万円
○村債	
過疎対策事業債減	▲440万円
学校教育施設等整備事業債減	▲370万円

歳出	
○総務費	
財産管理費 除排雪等委託料減	▲320万円
地域創生推進事業交付金減	▲175万円
特定地域づくり事業推進交付金減	▲261万円
電算システム作成委託料減	▲112万円
湯沢雄勝広域市町村圏組合負担金減	▲300万円
店舗運營業務委託料減	▲209万円
新型コロナ感染症対策費減	▲1717万円
○民生費	
自立支援給付費増	300万円
福祉医療費給付費減	▲532万円
国保特別会計繰出金減	▲113万円
教育・保育給付費負担金減	▲616万円
災害救助費 除排雪業務委託料減	▲230万円
○農林水産業費	
畜産施設維持管理用機械借上料減	▲151万円
○商工費	
滞在型観光誘客促進事業補助金減	▲137万円
○土木費	
冬期交通対策費減	▲818万円
定住促進住宅修繕料減	▲145万円
○教育費	
学校給食費助成金減	▲121万円
○諸支出金	
財政調整基金積立金増	3億100万円

質疑白熱

令和3年度一般会計補正予算(第1号)の歳入・歳出に対する主な質疑の内容

村有建物災害等共済金収入

質問 何に対する共済金か。

答弁 保育園の手すりが330万円、給食センターのガスボンベの設置台が70万円となっている。

質問 雪害のあった畜舎は、どうなっているのか。

答弁 現在、被害状況を調査中。

感染拡大予防費

質問 災害時の避難所における段ボールベッドの購入とあるが。

答弁 床面から高くなることにより、感染リスクが抑えられる。

質問 この段ボールベッドは何回も使用可能か。

答弁 基本的には一回。

地域活性化起業人交流事業

質問 協力隊関係の事業か。

答弁 今年度、地域おこし協力隊員として着任した近藤氏が経営している会社から職員を派遣していただき、役場のICT関係や、Web関係をお願いする。

質問 近藤氏も一緒に行うのか。

答弁 あくまでもこの事業とは別で、近藤氏は協力隊として活動していただく。



近藤氏の会社との締結式

公的空間安全・安心確保事業

質問 サーモグラフィカメラの購入とあるが。

答弁 ホテルブランや栗駒山荘などで不特定多数の方を同時に検温するために必要。検温時に密にならないようにするという観点から購入。

質問 イベント等があった場合は、貸し出しできるか。

答弁 役場庁舎で使っているものを貸し出し可能。

空き家改修工事

質問 本工事費540万円との説明があったが、改修後はどのように利用されるのか。

答弁 今年度から新たに着任している地域おこし協力隊の住居として考えている。

質問 一軒家を一人で利用するのか。

答弁 一人で利用するか、共同かは検討中。

社会資本整備総合交付金事業



役場庁舎で使われている検温カメラ

質問 村道舗装補修事業など6つの工事と説明を受けたが、これら工事は、簡易水道事業と工期が重ならないのか。

答弁 それぞれの工事自体が大規模な工事となるため、短い期間での工期は設定できない。ほとんどの工期が重なること認識している。

高橋 清一 議員



担い手対策の進め方は

村長 農地集約化・法人化と補助金を有効活用



法人化が進むもとで行う田植

質問 村の農業の担い手対策は、法人化や大規模化を進めてきた。受託先の不足から農家が農地の維持管理に難儀をしている。今後どう対策を進めていくのか。

村長 農地の集約化、法人化を進めてきており十分効果はあったと思う。国、県、村と連携し、効率化をすすめて経営の推進を図り各種補助金を活用し支援をしていく。受託面

積キャパオーバー(容量を上回る)の地域には、1団体からの設立検討の話もある。支援については、過疎地域対策の新法が成立しており今後対策が具体化されていくと考える。

質問 村独自の農業対策は。
村長 具体的な対策については、地元の方々の意見を聞きながら何を望むのかを定め、対応をしていく。

地域にあった有害鳥獣対策を 村長 森林緩衝地帯の整備等を推進

質問 県の第二種特定鳥獣管理計画により市町村の対策が求められている。注意喚起や有害捕獲などの対処法のみでなく、村独自の新たな対策を。

質問 国県の有害鳥獣対策担当からの情報は、どう住民へ伝えていくか。

村長 クマやイノシシの対策は、一概には言わない。これらについては、森林緩衝地帯の整備などを進め、生活圏を分けるようにしている。また、ワナについても研究している。

村長 県のネットワーク組織が整備されており、連携・情報共有をとり進めている。目撃情報は、防災無線等で伝達し事故防止に努めている。

伊勢谷 勝 美 議員



働きやすい環境にすべきでは

村長 しっかりと人材を登用していく

質問 SDGsの17項目に関連して何う。

現在、村の女性議員、行政の管理職(課長)はいません。ジェンダー平等についての考えと、村の女性の働きやすい環境を整える努力が必要ではないか。

村長 ジェンダー平等については開発途上国において女性子供への性差別などそういったものが取り上げられたと理解している。村においてはそんな話は聞いたことがない。役場の中では必要な場合はしっかりと人材を登用していく。これからも女性が出てこれることは、我々も大歓迎である。

質問 村には約70ヘクタールが耕作されない自己保全農地となっている。更に山の森林管理放棄地も増えている。陸の豊かさを守るために、これらの諸問題を指導できる人材を配置し問題解決に取り組むべきと考えるがどうか。

村長 耕作放棄については、SDGsの対象になっていく

かもしれない。耕作放棄地をなくしたいことから、農地の集約化になり、法人化対策をとってきた。これからも引き続き継続していきたい。

質問 2020年学習指導要領にSDGsが取り入れられ、多様な分野で取り入れられていることが分かり感心した。学習したことを生かし、村と子供たちとの意見交換できる場を設けてはどうか。

教育長 SDGsへの取り組みは日々学習、あるいは生活に深い関係があり、一つ一つの活動が大事と考える。意見交換の場を設けてはどうかについては、毎日の教育活動に新たにそれを付け加えることになる、色々と検討する課題が出てくる。出来るかについては学校側と相談していく必要がある。



SDGsを取り入れている学習

認知症サポーターを増員すべきでは

村長

内容の充実が重要

質問 村に認知症の症状のある方は推定で200人くらいいるようだ。地域包括支援センターの活動で、認知症サポーターを更に増やす取り組みをすべきでは。

村長 包括支援センターが中心となって、サポーターを増やすばかりだけでなく、内容のある充実したものにしていくことが重要である。

質問 徘徊する方の衣類に仙人掌マークのQRコードを縫い付ける、「ごじシル伝言板」の導入を考えてはどうか。

村長 QRコードで読み込んで今どこにいるか所在を確認することも可能になる時代で、有効に活用することは検討していく必要があるだろう。

佐々木 正 利 議員



今、何を作っているのか

村長 ハンバーグ・餃子等の加工品



食肉加工センターで作っている餃子とハンバーグ

質問 食肉加工センターは、雇用の創出・地域特産品の加工・販売等を行い、地域の活性化に寄与するために多額の村費を費やした施設である。今年度から指定管理から業務委託に変更になったが、前業者との業務内容の違いは。そして、今、何を作っているのか。

村長 この施設の運営にあたっていただく業者は販売側ということ、商品開発、肉の解体もやって、県内で手広く肉の販売をしている。生産者とはまた違う一面で商品開発も積極的に取り組むだろうと思っている。

今作っているのは、ハンバーグ、餃子などの加工品で売りに出されている。ペット用のジャーキーも製造していくという事である。

再質問 村の特産品を作るための施設だと思つので、少しでも赤べこの肉が入っていれば、赤べこのハンバーグ、餃子、ペット用のジャーキーとして、商品になるかもしれないが、村の条例にある特産品としては検討する余地があるのではないか。

村長 短角牛に対する需要が大変、落ち込んでおり、頭数も極端に減っているのが現状である。この施設は村の特産の赤べこを売りにしているわけなので、ふるさと納税にも引き続き組み入れ、特産品メニューとして、これは欠かせない商品だと業者に強く申し入れたい。

質問 雇用の創出はどのように考えているか。前回のよう計画を立てているか。

村長 雇用の方は、責任者を含めて4人体制であるが、来月には村内から1名採用するとの報告を受けている。この後、商品が順調に販売できるようになり、生産量が増えていく可能性はある。雇用できる会社の業務内容にしていたくように、申し入れをしていきたい。

その他の質問
○防災無線について

佐々木 修 議員



新計画と維持管理どう両立

新しい事より既存施設のブラッシュアップで再生を

村長 選択肢として重要なポイント

質問 今後策定される「東成瀬村総合計画」、「過疎計画」、「地方創生総合戦略」の中で雇用と村の公共施設の維持管理をどのようにして解決していくのか。村の財政状況からして、新規事業はリスクがある。今後の各計画は新しい事業をやらせない計画とし、既存施設のブラッシュアップ（磨き上げ）で再生し、維持管理しながら、大規模改修や雇用を作り直すなどの課題解決をすることはどうか。

村長 人口減少の中、今後の各計画で新たな施設を作って雇用創出は厳しい環境下と考える。

新しい施設よりも、あるものに磨きをかけ、事業展開を図るのは一つの選択肢として重要な可能性になる。

また、村で業を起こす人材に期待したい。雇用創出され若者向けの企業になる可能性もある。そういった制度を活用する方向は大事と考える。

例えば ブランをブラッシュアップ

→ 大規模改修、雇用の作り直し



3計画は新しい事業よりも両立できる計画に

「東成瀬村総合計画」
「過疎計画」
「地方創生総合戦略」

両立

公共施設等の維持管理
事業展開

6月定例会議議決事項名

専決処分	村税条例等の一部を改正する条例
	令和2年度一般会計補正予算(第9号)
	令和2年度国保特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)
繰越明許費繰越計算書について	
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	
介護保険条例の一部を改正する条例について	
令和3年度一般会計補正予算(第1号)	
令和3年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第1号)	
令和3年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	
令和3年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	

令和3年度一般会計補正予算(第1号)の主なもの

歳入

○地方交付税	
特別交付税増	1010万円
○国庫支出金	
低所得者保険料軽減国庫負担金増	241万円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金増	4101万円
社会資本整備総合交付金増	5555万円
○県支出金	
低所得者保険料軽減国庫負担金増	121万円
新型コロナ対策生活応援事業費補助金増	621万円
○繰入金	
財政調整基金繰入金増	2100万円
地域福祉基金繰入金増(幸寿苑改修事業に充当)	200万円
○諸収入	
後期高齢者医療保健事業受託収入	903万円
村有建物災害共済金	103万円
○村債	
過疎対策事業債増	2960万円

歳出

○総務費	
公共施設等総合管理計画改定業務委託料増	176万円
地域おこし協力隊経費増	576万円
地域活性化起業人交流事業増	444万円
本工事費増(村営通信設備)	510万円
地方創生臨時交付金事業増	4600万円
新型コロナ対策生活応援事業増(県事業)	787万円
○民生費	
介護保険特別会計繰出金増(低所得者保険料軽減分)	483万円
低所得者子育て世帯生活支援特別給付金増	147万円
○衛生費	
健康管理システム改修業務委託料増	149万円
○土木費	
防災・安全社会資本整備交付金事業増	3200万円
社会資本整備総合交付金事業増	3200万円
橋りょう長寿命化修繕計画策定業務委託料減	▲150万円
建設機械購入(除雪ドーザ)	3000万円
○教育費	
本工事費増(野球場バックネット)	245万円

請願・陳情

6月定例会議で2件の陳情が提出され、総務教育民生常任委員会に付託。審査の結果、採択すべきものとし、要請に基づき意見書を提出することに決定しました。

採択とした陳情

- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情
(陳情者) 秋田県教職員組合
執行委員長 櫻田 憂子
- 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情
(陳情者) 連合秋田横手湯沢地域協議会
議長 齊藤 斉

傍聴しませんか?



会議はどなたでも傍聴できます。
詳しくは議会事務局へお問い合わせ下さい。
次回定例会は9月上旬開会の予定!

傍聴席へようこそ

6月定例会議では、東成瀬村婦人団体連合会の皆様が、一般質問を傍聴!



常任委員会合同 村内視察

6月25日、常任委員会合同で 各地区から提出された新規要望事項について 現地を視察し 各地区の代表者から要望事項の内容や現状について説明を受けました。

調査には、副村長と担当課長も同行しており、現地調査終了後に講評を行いました。

大柳地区(エンマ谷地付近水路側溝撤去再設置)



手倉地区(交流センター入口スロープ上に屋根)



岩井川地区(合居 用水路改修)



平良地区(発電所内取水口と平良堰の改修)



田子内地区(沢方水路取水口改修)



下田地区(国道交差点街灯設置)



7月臨時会議

議決事項名

秋田栗駒リゾート株式会社の経営状況を説明する書類の提出について
物品供給売買契約の締結について
令和3年度一般会計補正予算(第2号)

令和3年度一般会計補正予算(第2号)の主なもの

歳出

○総務費	
本工事費増(ゆるるん外壁フード修繕)	200万円
村税過年度還付金増	80万円
○農林水産業費	
設計等委託料増(畜産施設修繕)	80万円
○予備費	
予備費減	▲360万円

契約

○除雪車購入

契約額 1815万円

相手方 コマツ秋田株式会社

横手支店

納期限 令和3年12月28日

7月臨時会議が、7月12日に開催されました。
報告1件、契約案件1件、予算案1件が提出され、全会一致で原案のとおり可決しました。

議会の動き



議会全員協議会

7月12日、議会全員協議会を開催し、秋田栗駒リゾート株式会社の経営状況について報告を受けました。

議員からは、国、県、村の助成金関係やコロナ終息後の対応、中長期的な営業計画等についての質問がありました。

暫時 憩 きゆうけい

▼タケノコを見つけてほしいと村外の方から頼まれ、直売所で手に入れてもらった。山に入り採ってもらった最高のタケノコで、その方は遠くに住む親戚に送りとでも喜ばれたそう。

▼以前、タケノコなど山菜取りの人が天気予報とともに、携帯電話で雨雲レーダーを見るようになったと話していた。私も作業の予定を立てるのに見るときがある。山の場合は、安否確認も含め安全につながる事で情報は重要だ。大雨による被害も各地で増えている。今年の大雪の際には雪に埋もれ携帯電話で助かった報道もあった。

▼今回のタケノコも全て携帯電話での連絡。そんな普段の生活から、防災や災害利用、身を守る道具、デジタル時代の新しい活用と、広がる携帯電話の存在はますます大きくなっているようだ。

(委員・佐々木 修)

夢に向かって羽ばたけ！ なるせっ子

No.2

中学校の皆さんにインタビュー！

質問① 東成瀬村と言えば？ 質問② あなたの将来の夢は？ 質問③ 将来、どんな村になってると思う？

- ①人が優しいところ。
- ②日本一周すること。
- ③子どもの遊べる所が増えてほしい。



3年 高橋 せら 星来 さん

- ①自然の多さ、教育が丁寧。人口が少ない反面、村民と深く関われる。
- ②公務員
村おこし関係の仕事に就くこと。
- ③無理に近代化せず、ある程度自然の残る村。人口は増えてほしい。ナラ枯れの解消 etc...



1年 杉山 しゅう 秋 さん

- ①自然がたくさんあるところ。村の人たちが優しいところ。
- ②大工
バスケットボールプレイヤー
- ③自然のそのままの形で遊べるところが増えている村になったらいいと思います。



2年 菊地 けいた 慶汰 さん

あの質問はその後どうなったの？

令和元年12月定例会議での佐々木悦男 議員の一般質問

「除雪臨時職員募集と除雪体制について」

追跡調査しました！



質問

前年度は10人体制で、今年度から8人体制となったようだが、募集はしたのか。人材不足の試算はしているのか。若者を育てる余裕を持たずにこのままの体制で良いのか。

回答

路線の作業効率を考慮し、区域の一部見直しを実施した。引き続き、若手オペレーターの確保に努力していきたい。今後も担い手の確保・育成に力を入れていく。



除雪作業の様子

その後どうなったのか…

令和2年度の村直営の除雪スタッフは、シーズン途中から若手スタッフ1名が新しく採用され、9人体制で作業を行っているが、人員確保は依然として大きな課題である。来シーズンに備え、課題解決に早急に取り組んでいく必要がある。